

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

労使会議の開催で幅広く意見を聴きましょう

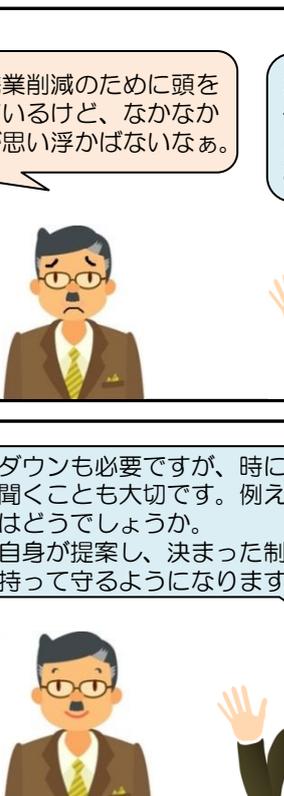
～時短・生産性を向上させる工夫～

①

従業員の残業削減のために頭をひねらせているけど、なかなか良い考えが思い浮かばないなあ。

私力不足だ

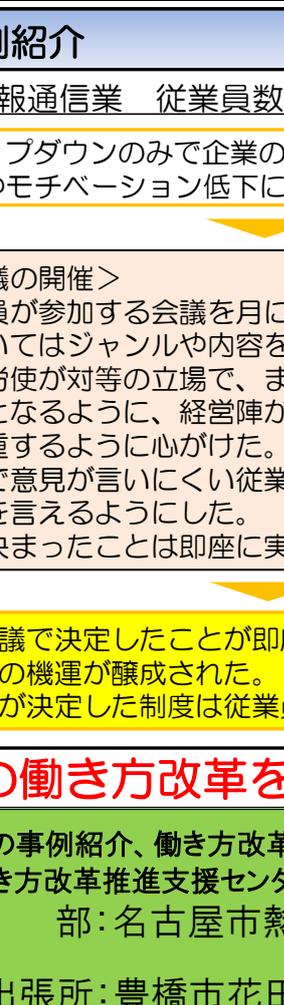
お困りですね。例えば、従業員の方から意見を聞いたことはありますか。



②

そんな聞いたことないよ。すべて私が決定して、従業員に命令を出しているよ。残業削減についても私が考えるよ。

いわゆるトップダウン



③

トップダウンも必要ですが、時には従業員から幅広い意見を聞くことも大切です。例えば、労使会議を開いてみてはどうでしょうか。従業員自身が提案し、決まった制度やルールは各自が責任を持って守るようになります。

それもよかったなあ

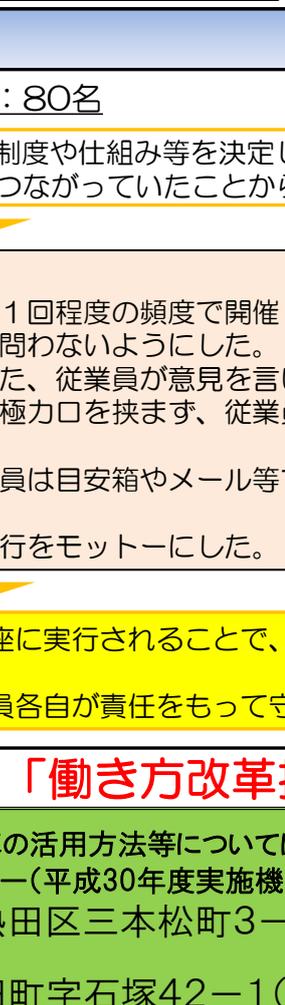
ボトムアップも大切です



④

全従業員が集まり会議を実施したところ、労働時間削減に関する様々な意見や要望が出て、大変有意義なものになりました。今では月に1回会議を開き、従業員からの意見に基づいて労働時間削減に取り組んでいます。

従業員の経営参加意識も向上し、風通しの良い職場になりました！



取組事例紹介

業種：情報通信業 従業員数：80名

従来はトップダウンのみで企業の制度や仕組み等を決定していたが、一部の従業員にはその方式に不満が出ており、早期離職やモチベーション低下につながっていたことから、職場風土の改善に取り組んだ。

<労使会議の開催>

- 全従業員が参加する会議を月に1回程度の頻度で開催し、議題についてはジャンルや内容を問わないようにした。
- 会議は労使が対等の立場で、また、従業員が意見を言いやすいものとなるように、経営陣が極力口を挟まず、従業員の意見を尊重するように心がけた。
- その場で意見が言いにくい従業員は目安箱やメール等で事前に意見を言えるようにした。
- 会議で決まったことは即座に実行をモットーにした。

【労使委員会で決まったこと一例】

- ・配偶者誕生日休暇の創設
- ・業務効率化のための新設備導入
- ・サマータイムウィンタータイムの導入
- ・全社禁煙
- ・職場内にドリンクバーの設置



- ・労使会議で決定したことが即座に実行されることで、従業員のモチベーションが向上し、従業員全体の働き方改革への機運が醸成された。
- ・従業員が決定した制度は従業員各自が責任をもって守るようになったことから、実効性が高いものとなった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com